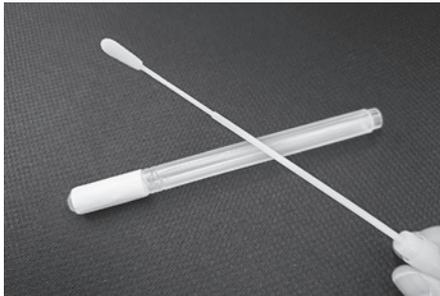


全国協議会 ニュース

2026年3月1日発行 第403号

発行所：特定非営利活動法人
全国骨髄バンク推進連絡協議会
〒101-0031 東京都千代田区東神田 1-3-4KT ビル 3階
TEL：03-5823-6360 FAX：03-5823-6365
発行責任者：梅田正造 題字：仲田順和
https://www.marow.or.jp E-Mail:office@marow.or.jp

スワブトライアル 3 開始 キット申込者まだまだ足りず



日本骨髄バンクは2026年1月20日(火)より「スワブトライアル3」を開始しました。このトライアルは本格導入用に開発したシステムを用いて、年間新規ドナー登録者の1/10に相当する3,000名の方に実際にスワブでドナー登録を行っていただき、システムや運用方法等の確認を行うべく実施するものです。

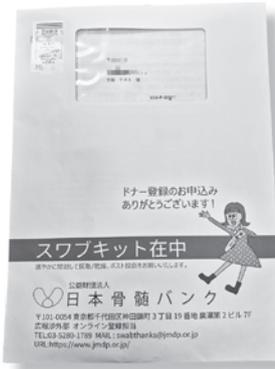
スワブとは先端がブラシのようになっている綿棒状の医療器具で、頬の内側や舌の裏をこすることで口腔粘膜細胞を採取することができます。口腔粘膜細胞の核に含まれるDNAでHLA型検査を実施し、ドナー登録を行うものです。なお、COVID-19の検査と違い、鼻ではなく口での採取となります。

スワブトライアル3の開始以降、当法人の公式HPや各種公式SNSで告知を実施いたしました。またこれに呼応する形で、全国のボランティア・自治体・関係者の皆様におかれましては、チラシ配布・SNSの発信拡散・語りべ講演会での説明などのご協力をいただき、誠にありがとうございました。骨髄バンク関連映画の放映といった後押しもあり、2月18日(水)までに約2,850名の方がスワブキットをお申し込みくださっております。

また本トライアルでは、現場採取型／

現場キット渡し型のドナー登録会を開催しました。2月14日(土)に鎌倉エフエムと鎌倉市役所のご協力のもと、鎌倉市生涯学習センター「きらら」およびヘーベルハウス鎌倉ラウンジの2か所に会場を構え、学生団体「ニューコロンプス」のメンバーや鎌倉女子大学の学生にもご助力を頂きました。鎌倉エフエムとは2番組6時間にわたりタイアップを行い、番組の中で当法人職員が骨髄バンク事業について説明をしたほか、ユースアンバサダーで提供経験者の酒井彰さん、ユースアンバサダーで移植経験者の三浦瑠菜さんが、それぞれのご経験をご自身の言葉で発信しました。結果として、2名の方が現地採取によりドナー登録手続きを行い、2名の方に専用キットをお渡ししました。

こうした施策の中ではありますが、本年度内に3,000名のドナー登録実現という目標に対し申し込み数の伸びが足りておりません。当法人としては、今後さらなるオンライン登録動線



の改良や広告発出の工夫を重ねるとともに、骨髄バンク事業を知っていただく機会をより増やしてドナー登録のためのキット申込者を募って参ります。第48回日本造血・免疫細胞療法学会総会の会場でも、スワブによるドナー登録会を実施予定です。

引き続き関係者の皆様におかれましては、スワブ登録の告知にお力添えをお願い申し上げます。

(日本骨髄バンク広報渉外部長 水口詞代)

マンスリーサポーター としてご支援を

マンスリーサポーターとして患者さんの支援にご協力ください。月々1,000円からのクレジット決済で行う支援で、税制上の優遇も受けることができます。お寄せいただいたご支援は患者支援基金をはじめ、さまざまな患者支援活動、啓発活動に使わせていただきます。

READYFOR 寄付募集ページ



骨髄バンクとさい帯血バンクの最新情報

● THE BANK NOW (速報値) ●

骨髄バンク					
■ 日本骨髄バンクの現状(2026年1月末現在)					
	12月	1月	現在数	累計数	
ドナー登録者数	2,449	2,121	565,402	1,021,948	
患者登録者数	220	184	1,768	72,981	
採取数	骨髄	33	40	—	27,563
	末梢血幹細胞	34	37	—	2,807
	合計	67	77	—	30,370

2023年4月から統計基準が移植件数から採取件数に変更

■ 1月の区分別ドナー登録者数
献血ルーム／435人、献血併行型集団登録会／1,656人、集団登録会／0人、その他／30人

■ 1月の年齢別ドナー登録者数(現在数)
10代 4,798人／20代 101,211人／30代 137,548人
40代 206,374人／50代 115,471人

■ 1月の20歳未満の登録者 225人
注)数値は速報値のため訂正する場合があります。
(MONTHLY JMDP(2月15日発行)より抜粋)

さい帯血バンク	
■ さい帯血保存公開本数	10,633本 (2026年1月末現在、国内6バンクの合計)
■ 1月の移植件数	111件 (累計26,568件)

【日本赤十字社 骨髄バンク・さい帯血バンク ポータルサイトより抜粋】

東海北陸ブロックセミナー報告



2月14日(土)に金沢市の石川県女性センターにおいて、いしかわ骨髓バンク推進・はとの会、あいち骨髓バンクを支援する会、岐阜骨髓献血希望者を募る会、三重県骨髓バンク推進連絡協議会のボランティア団体と石川県、金沢市、石川県赤十字血液センター、岐阜県(Web参加)の総数29

名参加による東海北陸ブロックセミナーが開催されました。

今年度は石川県赤十字血液センターの中尾眞二所長に講師としてお越しいただき、「輸血と造血幹細胞移植の歴史」についてご講演いただきました。私にとっては、29年前の骨髓移植が走馬灯のごとくよみがえるなど、本当に貴重なご講演だったと思います。

梅田理事長からは全国骨髓バンク推進連絡協議会の活動紹介がされました。

続いてWebで繋ぎながら、各行政や加盟団体から「若年層のドナー登録者獲得の取組」「ドナー休暇制度普及の取組」等々の活動報告を、皆さん真

剣に発表していただきました。ただ時間の都合で、意見交換の時間を充分確保できなかったのが悔やまれました。

ブロックセミナー後の懇親会では、ボランティア団体の他に石川県赤十字センターの方にも2名参加していただき、13名で楽しく交流を深めることが出来ました。

北陸では本当に珍しく14日15日と晴天が続き、翌日には市内観光された方が多く、最高の行楽日和にもなったかと思われまます。

開催にあたって大勢の方にご協力いただき感謝申し上げます。

(東海北陸ブロック担当理事
川下 勉)

体験談等活用ガイドラインの活用

全国協議会では、理事会の承認を得て「体験談等活用ガイドライン(以下GL)」を発効し、加盟団体各位にもご協力をお願いすることになりました。

全国協議会及び協議会加盟団体は、以前から骨髓提供者や移植患者がお互いに交わした手紙をパネル化して、主催する啓発イベントを利用し参加者に見ていただくことで骨髓バンクの重要性や必要性を訴えて、ドナープールの拡大に努めてきました。

一方、日本骨髓バンクは提供者及び移植患者のペアが特定されることがな

いようメッセージを発信しています。イベントでの掲示物や体験者のコメント、また印刷物における寄稿文等が当事者を特定されかねない、または医療機関にご迷惑をかけることになったケースにも遭遇したため、トラブルを未然に防止すべく目安を設けることの必要性が提議され、委員会を設けて作成に当たりました。

加盟団体各位の啓発イベントにおいては、ほとんどは問題なく実施されているものと承知していますが、思わぬ所でトラブルを起こしてしまうことがな

ないよう、イベント開催の際には当GLの内容を十分にご確認ください。体験談の発表やコメントをお願いする相手方、共催または後援いただく団体各位にも背景と大まかな目安をご理解いただくための資料も作成しましたので、是非ご活用ください。くれぐれも体験談等のご発表をいただく方の責任を問うものではないことのご理解をお願い申し上げます。

なお、具体的に判断に迷うケースがありましたら、協議会内にも担当理事を置きましたので、遠慮なくご相談いただければ幸いです。

映画「小春日和」への思い

私は普段は精神科医・産業医として臨床に携わる傍ら、児童相談所や教育センターなどで子どもや家族、施設や学校の先生と向き合って過ごしています。たまにお芝居をしたり、医療監修をしたりもしています。

そんな私に思いがけず血液のがんである多発性骨髄腫が見つかったのは3年前の春でした。2年かかってPET検査でやっと診断がついた時は、がん治療中の女優仲間と3人で「キャンサーズをやろう！」などと計画していました。スタートしたYouTubeには沢山のコメントを頂き、折角ならもう少し形に残るものを〜と、ちょっとし

た短編のつもりで始めた映画製作でしたが、何と長編になってしまいました。

ただいわゆる“がんの映画”にはしたくなかったので、監督とプロジェクトメンバーで何度も何度も脚本の推敲を重ねました。

悩みを抱えるヒロインがさまざまな人と出会う中で成長する姿を描く事で、困難に立ち向かう人々を応援する物語。どこにでも居そうな誰かが、新たな一歩を踏み出せるようにそっと背中を押したい、そんな思いの詰まった作品です。

趣旨に賛同した由美かおるさんや柴田理恵さん、同じ病気の佐野史郎さん

が出演してくださり、花を添えてくださっています。キャンサーズその他、小児白血病のご家族も出演してくださいました。



たくさんの方に支えられて完成した『小春日和~Indian Summer~』を是非ご家族でご覧いただけましたら幸いです。(『小春日和』プロデューサー 楠部知子)

2026年5月シネマロサ(東京)、第七藝術劇場・シアターセブン(大阪)などで上映予定

小児がん経験者の交流会 in 山口 開催



2月7日(土)、山口大学医学部附属病院敷地内施設において、「小児がん経験者のための交流会 ぴーなつつクラブ」を開催しました。当会は、山口県を中心に活動する小児がんの治療を受けた患者さんのための支援団体で、小児がん経験者(骨髄バンク・きょうだいによる移植経験者)や医療者が

協力しながら運営しています。中学生からAYA世代(30代)までの患者さんを対象に、退院後も病気と向き合いながら病気や退院後の生活(学校・仕事)、将来への思いなどを安心して語り合い、仲間とつながることができる場所として年2回交流会を開催しています。

当日は曇りが降る寒い一日でしたが、小児がん経験者4名と医療者が集い、和やかな雰囲気の中で交流が行われました。現在の体調や治療後の定期受診、食生活や運動による体調管理、受診時の検査値について、また、成人後も主治医のいる小児科受診の継続とい

う小児がん経験者特有の話題など、参加者同士がさまざまなテーマについて共有し合う有意義な時間となりました。

小児がんは医学の進歩によりその多くが治る病気となり、学校や社会へ復帰する患者さんが増えています。一方、治療後の不安や社会生活を送る中での悩みなど共通する体験や思いも少なくありません。思いを共有しながら語り合い、仲間と出会うことは大切な経験になります。今後も治療した病院を問わず、気軽に参加し交流できる場として交流会の企画・運営を続けてまいります。

(ぴーなつつクラブ代表/骨髄バンクを支援する山口の会 猶絵美)

ゴールドジム関西スクール発表会で贈呈式



2月28日(土)、大阪府高槻市にある高槻城公園芸術文化劇場で「GOLD'S GYM 関西スクール発表会 2026」が開

催され、ダンス・バレエ・フラダンス等20数組が演技されました。

この発表会は、骨髄バンク・東日本大震災・令和6年能登半島地震チャリティイベントで、観覧の方の入場料の一部が募金となります。

全国骨髄バンク推進連絡協議会では、2005年から長くこのチャリティ支援団体としてご寄付を頂いています。

当日、私が会場を訪れ贈呈式に出席

し、募金を受け取りお礼の言葉を述べました。ゴールドジム様が骨髄バンクにご協力いただいた切っ掛けは、2000年に空手家でK1ファイターでもあったアンディ・フグ氏が、急性骨髄性白血病で35歳の若さで亡くなったことです。アンディ氏はゴールドジムの運営にも多大な影響と協力をされました。アンディ氏と同じく白血病で苦しんでいる患者さんのためにと、発表会をチャリティイベントとして開催されています。

(全国協議会 副理事長 山村詔一郎)

基金給付を受けた方からのメッセージ

佐藤きち子記念 造血細胞移植患者支援基金

今回、子供の白血病により長期入院、治療が必要となり、入院中にこの基金をケアワーカーさんよりお聞かせいただきました。3人きょうだいの末っ子(5歳)で急性骨髄性白血病と診断された当日の事、初回の治療で抗がん剤の効果の血液検査やガン遺伝子検査から骨髄移植が治療で必要になると聞いた日の事は今でも忘れられません。なんとしてでも治して欲しい、子供と代わってあげられたら…治るならなんでもしますという気持ちで付添いました。何もしてあげられないもどかしさ、今後の不安に悩み、祖母に預けた兄・姉の子供たちの生活などの不

安、仕事のできない状況、収入不安など募る一方でした。その中で寄り添っていただいた医師や看護師、医療スタッフの方々にとっても感謝しています。ケアワーカーさんより基金の事を初めて聞いた時、今まで同じような状況でがんばってこられた方、同じように治療をしている方がいる事に気がき、また同じように悩んで治療され、支援されてきた方々がいる事を知り、ああ1人じゃない、励まし、そっとささえてくれる人がこんなにいらっしやるんだと思うことができました。どんなにお金がかかっても、治療だから、この子が生きるために必要な事だと思っていました、基金で支援いただける事は本当にありがたく、応援してもらっているような気持ちになりました。治療も一段落し、骨髄移植をのりこえ、家に帰ることができ、私の心配

をはねのける様に子供は活動してくれています。不安は尽きる事はありませんが、支えてくださる方々がいることでとても励みになりました。今回は本当にありがとうございました。

(九州地方在住 患者さんのお母様)

志村大輔基金 (分子標的薬支援)

私の息子は昨年1月慢性骨髄性白血病と診断されました。治療にあたり、投薬にかかる薬代は途方もなく高額なものと知り、驚き、これからの生活に不安を感じました。そんな時、主治医の先生から「志村大輔基金」のお話をいただきました。基金助成申請の手続きを進めましたところ、早速、助成の決定をいただき、本当に有り難く深く感謝申し上げます。これからもよろしく願い申し上げます。

(関東地方在住 患者さんのお父様)

各地のたより

各地のたよりを
写真を添えて
お寄せください。

兵庫

高校生バンド
フェスティバル開催



2025年12月14日(日)、姫路地区骨髄バンク推進センター主催「骨髄バンク支援クリスマスコンサート2025」第9回播磨地区高校生バンドフェスティバルが姫路市民会館で開催されました。今年は12校が参加の予定

大阪

大阪マラソン2026
チャリティランナー報告

2月22日(日)大阪マラソンに、NPO法人関西骨髄バンク推進協会のチャリティランナーとして出場しました。結果は2時間44分05秒で完走。6年ぶりに自己ベスト更新ペースで前半から挑み、30km以降は気温上昇も重なって「耐える時間」が続きましたが、最後まで粘り切ることができました。

大会前日・前々日の2日間は、インテックス大阪で開催された大阪マラソンEXPOチャリティブースで啓発活動。骨髄バンク応援ランナー募集を呼びかけた結果70名を超える方が黄色い襷を掛けて大阪マラソン2026を駆け抜けてくれました。

骨髄バンクを「初めて知った」「登録方法を教えてほしい」と足を止めてくださる方が多く、知るきっかけが会話から生まれることを実感しました。

レース当日。大阪の街を駆け抜けていると、沿道からは「骨髄バンクがんばれ!」「応援してる!」「僕も献血行きます!」という声援が何度も届きま



でしたが、当日、1校はインフルエンザのため残念ながら参加できず、11校の参加となりました。出演者の友人や保護者など約250人の方にご来場いただきました。

演奏の合間に、患者とドナーになられた方にお話をさせていただき、またドナー登録についての説明もおこないました。コンサート後、登録したいという方も来られ、良いPRが出来たのではないかと思います。

当センターでは、1992年の創立以来、骨髄バンクの活動を地域にPRするため、全国骨髄バンク推進連絡協議会との共催のもと、日本骨髄バンク、姫路市の協力を得てクリスマスコンサートを開催し、今回で34回目となります。これからも、若い人たちに骨髄バンクを知っていただくために活動していきたいと思っています。

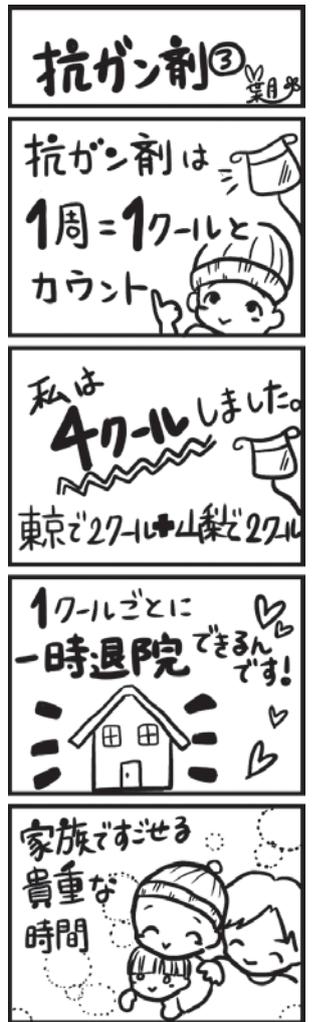
(姫路地区骨髄バンク推進センター 代表 三宅敬)

した。この声が治療に向き合う患者さんやご家族にも届いてほしいと強く願い走りました。

試合は、理想通りの展開とは言えず悔しさも残りましたが、その瞬間に出せる最善、全力を尽くせたことに感謝しています。献血も骨髄バンクも、誰かの善意が次の希望につながる仕組みです。まずは「知る」、次に「調べる」、そして献血ルーム・献血バスに行く。ひとつの行動が、未来の「生きたい」を支える力になります。今後も走ること・語ることを通じて、ドナー登録や献血の輪が広がるよう活動を続けます。次の大会でも、タスキを背負って走る仲間が増えることを願っています。街で生まれた声援と出会いを、これからの啓発活動につなげ、患者さんの選択肢が広がる社会を一緒に目指しましょう。

この度はたくさんのご声援をくださり、有難うございました。次は私たちがエールを贈る番ですね。みんなで、がんばろう。

(NPO 法人関西骨髄バンク推進協会 松井一矢)



「30歳で白血病となり2度の移植を経験。現在は自分らしく生きることを目標にお絵かきクリエイターとして活動中。」

心からのご寄付に感謝申し上げます ●1月21日~2月20日(敬称略)

当協議会への寄付金は税制上の優遇措置を受けられます。

●一般	サンパウロ日本人学校同窓会有志	現金	65,553円
大橋 洋典	現金	10,000円	
細川 和広(細川内科クリニック)	●募金箱		
現金	株式会社 クスリのアオキ	現金	8,330円
1,000円	現金	1,207,184円	株式会社コスモトレードアンドサービス
匿名	株式会社 マルト商事	現金	5,535円
現金	1,000円	現金	5,200円
●佐藤きち子造血細胞移植患者支援基金	池田 三津子	現金	58,390円
現金	●志村大輔患者支援基金	株式会社 ナルックス	現金
10,000円	石橋 もと子	現金	4,178円
20,000円	門井 元	現金	10,000円
10,000円	株式会社 フクヤ	現金	8,188円
		●マンスリーサポート	現金
			76,000円

活動資金の支援をお願いします	銀行口座	三井住友銀行 新宿通支店	郵便振替口座	00150-4-15754
		普通 5666655		

口座名: 特定非営利活動法人 全国骨髄バンク推進連絡協議会
郵便振替口座の振込用紙を郵送いたします。当協議会までご請求ください。